

## 平成 29 年第 12 回松阪市教育委員会定例会会議録

日時 平成 29 年 10 月 18 日（水）13 時 30 分

場所 松阪市教育委員会事務局教育委員会室

### 議題

### 報告事項

1. 9 月議会について P1
2. 松阪市北部学校給食センター整備事業の落札事業者決定について P5
3. 平成 29 年度 9 月児童生徒の問題行動等について P18
4. 松阪市における全国学力・学習状況調査の結果分析について 別紙資料①
5. 平成 30 年度松阪市立幼稚園園児募集の結果について  
別紙資料②（当日配布）

### その他

1. 第二回松阪歴史文化塾の開催について

教育長 　ただ今から平成 29 年 10 月第 12 回教育委員会定例会を開催いたします。

　なお、夕刊三重新聞社様から傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可いたしました。ご報告申し上げます。

教育長 　それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきます。

教育長 　本日は、議案がありませんので、報告事項に入ります。事務局から説明願います。

（事務局説明）

教育長 　ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見は、ありませんか。

委員 　学力学習調査の結果分析について、別紙資料をいただき学習状況調査を特に拝見させていただきました。

　その中で、クロス分析の部分を興味深く見せていただきました。

　それぞれの項目は、別にしまして学習状況調査は、生徒それから学校、そして保護者に対しての何か特別に抽出された学校に対して保護者アンケートをとられたと聞いていますが、松阪地区でもあったのかどうかお聞きします。

事務局 　保護者の抽出については、松阪市ではなかったと確認しています。

委員 　全国で小学校が 1,186 校、中学校 799 校で保護者アンケートが実施されています。松阪市は、なかったということですが、全国で実施された保護者アンケートの結果について松阪市にフィードバックされているかどうか教えてください。

事務局 　今回いただいたデータの中に保護者アンケートの結果はありませんでした。

委員 　なぜこのような質問をさせていただいたかという生徒は、学力学習調査について、このような結果が出ていることや、それぞれどこにあてはまると当然わかっていると思いますが、保護者がどのように思っているか。実際に家で守れているかどうか。生徒は守っているということですが、保護者が守っていないと捉えられるという

ところはないか。

先生方の指導において保護者と生徒が同じ考え方であればよいのですが、生徒だけの学習状況調査が、果たしてどこまで信頼性があるかどうかという疑問もあります。

その点で保護者アンケートを今後どのように学習状況調査に入れ込んでいくか、もう少し期待をしていきたいと思います。

それから、いろんなクロス分析を見せていただき、特にいつもチャレンジのこの問題で、気になりながら自分も書斎にも貼っています。

子どもたちが家庭で五つのチャレンジを実行しているかというふうなところやまた、クロス分析にも関わりますが、具体的に一つだけご質問させていただきますが、21 ページの読書は好きであるが、家で読書をしている時間が短いということが出ています。

その中で、家で読書をしている時間が1 時間以上、2 時間より少ないところで正答率が高くなっていますが、ここに何人の児童生徒がいるのか。また、全くしないという児童生徒は何人、何%含まれているのか。選択肢のどの部分の人数が多いかにより成績の正答率が変わってくるのではないかと思います。

読書が好きであるが、読書をする児童生徒の数字が少ないことは、たいへん問題であるかと思います。

11 ページに家で読書をしているかという設問の 18 番に 30 分以上読書をしている割合で松阪市は 3 2 % と 2 4 % です。このようなことから読書の習慣づけを家庭と学校、図書館等含めて考えていけば平均正答率も高くなるのではないかと思います。

特にお願いしたいと思います。

事務局 児童生徒数の割合についてですが、母数として小学校は、約 1, 400 人、中学校については約 1, 300 人でございます。

それぞれの割合についての資料を今持ち合わせていませんので、改めて提示させていただきたいと思います。

委員 それぞれの数字は出ているのですね。

事務局 数字は出ています。委員のご指摘のとおり、その数字が多ければ多いほど、信憑性のある数字であると思います。

今後、その割合についても分析を行っていきたいと考えています。

委員 クロス分析をしっかりとやっていただくと指導の方向性が見えてくると思います。

事務局 先ほどの保護者のアンケートについては、大切なことであると思っています。

三重県においては、「みえの学力向上県民運動セカンドステージ～子どもの問題は大人の問題～」の中で、大人がどのように子どもの教育に関わっていくかということが大変重要なことであると考えられています。

松阪市においては、「本居宣長さんの教え『五つのチャレンジ』」を、学校と教育委員会、そして、保護者、地域住民がそれぞれの立場から子どもたちの教育に責任を持ち子どもたちのあるべき姿を共有して共に手を携え取り組むための道標として、保護者とともに取組を進めているところです。

また、読書習慣が身につけていないことについては、松阪市学力向上推進委員会でも協議をいたしました。学習を始める時間や寝る時間、起きる時間を計画的に行うことが大切であることを確認しました。読書の時間については、時間が長ければ長いほどよいということではなく、中学校については、1日あたりの読書時間が10分から30分より少ないと回答した生徒が、正答率が高かったという結果が出ており、量だけでなく質的なものが重要であると捉えています。

さらに、習慣付けについては、三重県教育委員会の生活習慣、学習習慣チェックシートが年3回あり、定期的に子どもと保護者が話し合いをしながら目標を決めて、読書に取り組むことなどをチェックしています。その結果を保護者と共有していく中で、読書習慣について改善しています。

今回の結果を基に、今後も学力向上推進委員会及び学力向上プロジェクトチームの会議の中で分析を行い、取組の改善を進めていきたいと考えています。

教育長 他に質問はありませんか。

委員 私も学力学習状況調査の分析結果についての感想を述べたいと思います。

山川委員もおっしゃいましたが、読書が好きだけど実際に行われ

ていないという数値的なものが出ています。全国的かもしれませんが、活字離れが進んでいるということを危惧しています。

松阪地区は特にテレビゲームやスマートフォンを使う時間が長いということも出てきています。学校では、いろいろな決まりを守っている意識は高いところがありますが、今後家庭での規範意識をしっかりと植え付けていただくような家庭と学校が協力しながら指導をよろしくお願いします。

それから少し気になったところが、26 ページの総合的な学習時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理をしていくというところが非常に低いことです。

先生から与えられた課題については取り組めるが、自分から課題を立てることということについては、新しい学習指導要領にもありますので、そのようなことをしっかりと受け止め、委員会等においてもこのことをしっかりと踏まえていただき、学力向上に向けた取組をお願いしたいと思います。

教育長 他に質問はありませんか。

委員 学力学習状況調査の7 ページの学校と家庭、地域が一体となった取組のところで、学校側が保護者や地域に対して働きかけを行いましたかという質問に今年度 100% になってはいます。

学校側は、頑張っているいろいろと働きかけを行われたかもしれませんが、受け取る保護者側がきちんとそれを受け取って、どのようにアクションを起こしたかどうかということについては、この結果に反映されていないので、家庭側の反応がどうであったかということが、わかるといいと思います。

家庭側の方には、アンケートが行われていないのでわからないと思いますが、わかる範囲で教えてください。

事務局 それぞれの学校において、学校関係者評価を行っています。そこには、例えば、連携校園の教員や保護者の代表、地域の方に入っただいて学校の取組について評価をいただいています。

これを進めるにあたり学校で最初に立てた目標をどの程度達成できたかということについて、学力のことや心の教育などについて自己評価を行い、それを学校関係者に見ていただきます。

このようなところで、全国学力・学習状況調査の結果等について

も報告して意見をいただくことやコミュニティ・スクールを設置している場合、理事会にて説明し、意見等をいただき、その中で子どもたちの読書のことが課題であれば学校として、朝の読書活動や学校図書館の活用などの話し合いをしたり、保護者であれば家での読書の時間に子どもと一緒に本を広げて読むことなど親として何ができるかを考えたり、地域住民であれば読み聞かせ等のボランティア活動を行うなど、それぞれの立場で何ができるかということを協議していただき行動に結びつけていくように進めています。

保護者の方がどのように受け止め、活動につながっているかというところについては、まだ把握ができていないので、実際に学校に足を運び状況を聞き取ることも行いながら改善に活かしていきたいと思います。

教育長        今のは、いろいろな取組の中で関係者評価も含めて保護者に活動を働きかけたということも含めての回答ですね。

                  その中で、保護者の受け止め方の部分ですが、保護者調査の中にありますか。

事務局        保護者への調査項目にはありません。

教育長        保護者の受け止め方がどうかという部分は大切なことなので、何らかのかたちで、保護者の意識等が把握できるようにすることは、今後の大きな改善点の一つだと思います。

                  プロジェクト委員会や学力向上推進委員会等で議論の一つにしていたきたいと思います。

教育長        他にご質問等ありませんか。

委員         児童生徒の問題行動等についてですが、例年 9 月は、気のゆるみや家庭、学校での生活環境の変化ということでいろいろなことが出てくると思います。

                  いじめに関しての件数が数字で出ていますが、些細な変化も見逃さないということで、きめ細やかな指導をしていただいていると思います。そのような中で早期発見、早期対応、早期解決ということで動いていただいていると思います。

                  この資料の中で、いじめから不登校につながっているかというこ

とについて、例えば冷やかしのように些細な事もありますが、子どもたちにとっては、非常に重く感じるものもあると思いますが、いじめと不登校の関係については、特にないのでしょうか。

事務局 前回の定例会の際に、山川委員からも不登校の要因の友達関係の中にいじめが含まれていると思われるから、そのようなところも見えていくようにという意見をいただきました。

今回、不登校の中の要因で友人関係と回答している者の状況について聞き取りを行いました。その中で、いじめが理由でというものは、ありませんでした。

要因としては、喧嘩をして友達関係がうまくいかなくなって自分から離れて行ってしまったりコミュニケーションが苦手で自分から離れてしまったり、思春期になってくると男女のつき合いの中で、うまくいかなくなってしまったことなどがあげられます。いじめに関わってというものはありませんでした。

教育長 他にご質問、ご意見はありませんか。

教育長 では、私から 30 ページの今後の取組についてですが、一定の説明はありましたが、学力向上推進委員会にこの分析をかけていただいて、また、学力向上プロジェクトチームによる授業改善の具現化をしてもらうということが、ここに大きな項目として挙げられています。今後、推進委員会の具体的な分析やプロジェクトチームが動き出すことについてのスケジュール等を説明してください。

事務局 プロジェクトチームについては、来週に第 1 回を開催します。その後、4 回の開催を計画しています。

そのプロジェクトチームの中で、話し合われたことについては、授業改善の方法に関することなどを冊子にまとめ、年度末に学校向けに説明会を開催し、各学校の取組に活かしていく予定です。

推進委員会についてですが、奈良教育大学の小柳教授を委員長とし、教職員、保護者の代表、地域組織からコミュニティスクールの代表や三雲地域で本の読み聞かせを長年している方などで組織する中で、第 1 回の推進委員会では、それぞれの立場で何ができるかなどについて話し合いました。

この後は、プロジェクトチームで話し合い、それを基に推進委員

会で協議いただき、パンフレットにより保護者に周知していきたいと考えています。

教育長 現在、各学校を訪問しています。それぞれの学校で学力向上に対する取組や授業改善、特に家庭学習の充実についての取組を進めていただいています。

また、学力が大きく伸びた学校での授業改善を見てみると目当てと振り返りは定着してきていますが、振り返りの部分の質を高めることや学年の共通項目を設けることなど、その質の高まりについて教職員が工夫をして取り組んでいます。

単に平均正答率を上げるだけでなく、取り組んだ課題をどのように解決をして、どう深めていくかという学び方の部分が定着してきたと思います。

この定着が小学校の学力の向上につながっていると思いますので、中学校や課題のある学校にもそのようなところを広げていきたいと思っています。

教育長 他に質問等は、ありませんか。

委員 私は保護者ですが、今回調査結果を見て、初めて子どもたちがテストだけではなくアンケートをしているということを知りました。

そのような保護者が他にもいると思います。結果表として学力についてこれだけ出来ましたという結果だけを持って帰ってくるので、自分の子どもは、平均より良いな悪いなとしか見てません

できれば、このゲーム時間やスマホを使っている時間の平均が高い、低いことが学力に関係しているということを配っていただくと家でもゲームの時間を制限しなければいけないとか、学校の規律は守れているとアンケートで答えているということであれば、家でも決めたことは守れるということなど、データとして表れていることを保護者にもう少し伝わるような方法をとっていただくと良いと思います。

また、もう一点ですが、幼稚園について、すべての園で定員割れをしています。今後どのように考えていくのか、検討の必要があると思います。

事務局 学力学習状況調査の結果に関してですが、ゲームやスマホについ

ては、宣長さんの教えのところにも課題として二時間以上の子どもたちが、全国に比べて多いことから危機感を持っていただくように記載させていただいています。

また、個々に振り返りシートというものがあり、単に教科の部分だけでなく学習状況についても、全体的な傾向についてですがわかるものを配布しています。

今後、周知の方法について、工夫をしていきたいと思えます。

教育長 結構、いろいろと工夫はしていますが、まだ十分に届いていない現状は、委員以外からも聞いています。

各学校が自校の状況を地域や保護者に公開することで協力が得られるとこともあり、周知の方法についても工夫をしていきたいと思えます。

事務局 幼稚園の件についてですが、地域の行事やいろいろなところで、各幼稚園の様子を知っていただくことや園での活動を外に向け発信していく必要があると思えますので、そのようなところを今後考えていきたいと思えます。

教育長 他にご質問、ご意見はありませんか。  
(委員から「なし」の声)

教育長 質問等が終了いたしましたので、報告事項1から5は、承認したいと思えますが、いかがでしょうか。  
(委員から「異議なし」の声)

教育長 異議なしということでございますので、報告事項1から5は、承認いたしました。  
次に、その他の項に入ります。事務局から説明をお願いします。  
(事務局説明)

教育長 ただ今のその他事項に関する事務局の説明に対して質問等は、ありませんか。  
(委員から「なし」の声)

教育長 他にその他の項で、ありませんか。

事務局        次回の教育委員会定例会でございますが、11月22日水曜日、  
午後1時30分から教育委員会室でお願いいたします。

教育長        それでは、これで平成29年10月第12回松阪市教育委員会定例会  
を閉会いたします。